

子どもたちをもつと地域に

今年も、お奴保存会のかたから生徒の参加依頼がありました。五十人を超える生徒が応募してくれました。練習を重ね、当日は、地域のかたと一緒にって祭りを盛り上げてくれることと 思います。

「地域の活動に、中高生や若者の姿が少ない。幼・少と親世代、高齢者で成り立っている。」と言ふ人がいます。確かにそうした傾向が強いと思います。大変残念なことです。

役員の人が揃いのユーフォームで盛んに呼びかける。親子連れや高齢者のかたがたが、楽し



バルなどに、中学生がスタッフの一員として参加し、生き生きと活動しています。お客様の応対や裏方の仕事、選手の誘導や器具の準備など、自分の仕事を黙々とこなしています。大人と肩を並べて仕事をする姿には一人前と認められた喜びと自信がみなぎっているように感じられます。でも、まだ人数や場が少ないよう思います。

中高生や若者が、地域の一員として、大人と一緒にになって活躍することは、生徒や地域にとって歓迎すべきことです。それがなかなか進まないのは、「きっかけ」づくりの難しさや、手間暇かけて粘り強く「育てる」体制づくりの難しさのせいにかなと思つたりします。

笠松町老人クラブ連合会主催  
「三世代相撲」将其大会 バ

C級の部

## 町老連二世代囲碁・将棋大会

## 企画展 年中行事にみる明治からのお人形たち

【期 間】4月10日(火)～5月20日(日)  
【開館時間】午前9時～午後5時  
【休館日】月曜日・祝日の場合はその翌日  
【入館料】無料



388-0161 / FAX388-0185

「お客として参加している。  
そんな場に、中高生や若者の姿  
が見あたらない。いても、グル  
ープになって片隅で自分たちの  
世界をつくって、関わりを求める  
ようとしない。そんな姿を何とか  
かしよう、何とかしたいと、中  
学校へ地域からさまざまなお誘  
いがあります。うれしいことで  
す。」

学校へ地域からさまざまなお誘いがあります。うれしいことです。

います。学校も働きかけますが、家庭や近所のかたからのお問い合わせがあると、もっと踏み出しがやすくなるのかなと思つたりします。

と思うたりします。  
いずれにしても、中学生時代  
に参加したことがきっかけで、  
今でも続けて参加している若者  
もいます。こんな若者が一人で  
も増えていくといいなと思つて

笠松町老人クラブ連合会主催の「三世代囲碁・将棋大会」が二月十八日福祉会館で行われました。  
成績は、次のとおりです。

将棋の部	A級の部
優勝	C級の部
準優勝	
三位	
足立	
堀	
田畠	
義男	
賢次	
正保	
八幡町	
上本町	
東宮町	

学校でも積極的に地域活動に  
参加するよう働きかけています  
リバーサイドカー二バル、町民  
大運動会、ふれあいフェスティ

笠松中学校長

赤木  
重義